

【目次】

- 【1】 第 53 回全国大会 (3/12~14) のご案内
- 【2】 第 54 回全国大会 (関西支部担当 9/3~5) の準備状況ご報告
- 【3】 関西支部各研究会 (全国・支部) の活動
 —特集:新資本主義研究会
- 【4】 その他お知らせ・ご連絡

♪==♪==♪==♪==♪==♪==♪

日本生産管理学会関西支部・メルマガ受信ご希望各位

大阪学院大学の葛西です。

あつという間に立春も過ぎ、温かさと寒さが入り混じる、まさに三寒四温のこの頃、コロナ下の外出自粛が続く日々の中で、つつい体と生活を甘やかしてしまいそうな日々ですが、今一番やっかいなのは風邪。病院にも行きづらく、施設や買い物の体温チェックにかかると外出もままなりません。まして咳でもしようなら、厳しい周囲の視線に会います。ぜひ皆様も、朝晩・昨日今日の気温変化に敏感にご対応いただき、温かくしてお過ごしください。

今号では、特に関西支部が担当となりました、今秋の大会の概要をご紹介します。まだ素案ですので、運営等についてはぜひご意見・またご協力をいただけますと幸甚です。

1000 字以上のテキストが送付できない関係上、続きは添付にてお読みください。

最後までお付き合いいただきますよう、よろしく願いいたします。

発行: 日本生産管理学会関西支部

連絡先: 葛西恵里子 (ekasai@hi-ho.ne.jp)

【1】第 53 回全国大会 (3/12~14) のご案内

すでに事務局よりご案内がされていますが、3/13(土)は、社員総会・そして 3 つの講演会が催されます。大会参加申し込みをされていない方も、これらへの参加は可能です。関西支部では、会員からの希望も受け、3/13(土)のみ、集合での参加が可能な場を設定しました。自宅でオンラインでの視聴がしにくい方、また支部の方との対面の場をご希望の方は、ご活用いただければと思います。

《対面参加の詳細》

日時: 2021 年 3 月 13 日 (土) 11:00~18:00

場所: 大阪学院大学 16 号館 3 階 02 教室

スケジュール詳細: (1) 社員総会 11:00~12:00

(2) 大会実行委員長挨拶・講演会 13:00~15:45

(3) 研究発表 第 2 会場 (テーマ: 技術革新・生産革新) 16:00~18:00

① 『サーキュラー・エコノミーモデルの形成史の一面、その 1、シェアリング・エコとの共通する性格』 福井県立大学名誉教授 佐武 弘章

② 『サーキュラー・エコノミーモデルの形成史の一面、その 2、ムダ概念との関連』 福井県立大学名誉教授 佐武 弘章

③ 『サーキュラー・エコノミーの成り立ち』 株式会社アイリーシステム 入江安孝

④ 『サーキュラー・エコノミーのこれから』 株式会社アイリーシステム 入江安孝

※ (3) 研究発表の参加視聴は、大会参加費の納入が必要です。

大会参加の申し込みは2/26(金)まで受け付けております(学会HPより)。各位の研究発表をお聞きになりたい方は、ぜひ申し込みをお願いします。

問い合わせは、葛西(ekasai@hi-ho.ne.jp)宛お願いいたします。

【2】第54回全国大会(関西支部担当9/3~5)の準備状況ご報告

昨年の支部総会でご提案しましたように、当初予定の国際大会が2023年秋に延期に決定、それに伴い、第54回全国大会(国内)を関西支部担当で実施することになりました。統一論題を

製造業のニュー・ノーマル —事業革新へのDX(デジタル・トランスフォーメーション)—

とし、9/3(金)~9/5(日)に実施します。

コロナ下ではありますが、まだ暑い時期の開催でもありますので、遠隔と対面を併用実施いたします。対面会場は大阪学院大学です。対面での学会はしばらくなく、貴重な情報交換の場となるのではと思っています。

そして講演会は、以下の3名の方をお願いしております。

- <1>基調講演 : 経済産業省 商務情報政策局情報経済課アーキテクチャ戦略企画室長 和泉 憲明氏
タイトル未定(内容:製造業におけるDX推進)
- <2>特別講演 1: ソフトバンク(株)法人プロダクト&事業戦略本部デジタルオートメーション事業第2
統括部 統括部長 梅村 淳史氏
仮題:「デジタル化と5G」
- <3>特別講演 2: 前大阪府箕面市長、クモノスコーポレーション(株)取締役チーフビジネスイノベーター、
大阪大学大学院高等司法研究科招聘教授 関西学院大学経営戦略研究科客員教授
倉田 哲郎 氏 仮題:「デジタルツインによるスマートシティの実現」

2018年11月以降日本の景気は後退局面に突入し、その後の米中貿易摩擦、そしてCOVID-19によるサプライチェーンの分断などにより、事業環境は不確実性を増し、困難さが深刻化しています。日本の製造業は、従来有能な現場の人材に支えられてきましたが、デジタル技術の進展・活用が世界の主流になる中、過去の強みが弱みに転化しつつあります。COVID-19はその限界をさらに白日の下にさらしました。

このような中、日本のデジタル化の遅れは企業規模の大小を問わず、国内・国際競争力を喪失する大きな要因となります。特にITシステム「2025年の崖」の克服は、喫緊の課題として挙がっています。この認識の対応として、経済産業省は2018年9月と2020年12月にDXレポート1,2を発行しました。1では、これまでの既存システムが老朽化・複雑化・ブラックボックス化する中では、新しいデジタル技術を導入したとしても、データの利活用・連携が限定的であるため、その効果も限定的となってしまうといった「2025年の崖」問題を指摘。2では、目指すべきデジタル社会の姿として、社会課題の解決や新たな価値、体験の提供が迅速になされ、安心・安全な社会が実現するほか、デジタルを活用してグローバルで活躍する競争力の高い企業や、世界の持続的発展に貢献する新たな産業が生まれる、という姿を示しています。

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_transformation/20180907_report.html

<https://www.meti.go.jp/press/2020/12/20201228004/20201228004.html>

今回の基調講演は、このDXレポートを取りまとめた、経済産業省 商務情報政策局情報経済課アーキテクチャ戦略企画室長の和泉憲明氏にお越しいただくこととなりました。直近の政策やDXに関する世界・日本の現状についてお話を頂く予定です。

特別報告1では、日本における5Gネットワークのプラットフォームとして、第一線で普及・拡大を進めるソフトバンク様より、20年後の未来の社会像からバックキャストし、今日本がしなければならない社会変革と、当社が進める取り組みについてお話しいたします。中小企業にとって5Gは遠い存在のように感じられる部分もまだ多いと思いますが、ローカル5Gは急速な普及段階にあり、画像等の大容量データ処理には欠かせないものとなります。これからレガシーシステムからの脱却をはかるには、ネットワークの5G化はもちろん、プラットフォームをいかに活用するかも大きなポイントです。企業コンサルタントをされている会員各位にも、参考になる点が多々あると思っています。

そして特別報告2では、前箕面市長、倉田哲郎氏にご講演いただきます。倉田氏は2008年、当時32

才・全国最年少で市長に当選し、昨年8月まで3期12年務められました。箕面市長として就任した翌年度、慢性的な財政赤字を解消し、財政のV字回復を果たしました。一方緊縮一辺倒に陥ることなく、子どもの医療費助成の中学校卒業までの拡大、農業法人の設立と学校給食への産物提供、府内に先駆けて防犯カメラ設置など、多彩な政策展開を実行。また半世紀にわたる課題であった北大阪急行線の延伸も実現させました。ICTスマートタウンの実現にも積極的に取り組み、「地域ICT官民ネット」の理事でもありました。今回大会主催地大阪府内の取り組みとして、「デジタルツインによるスマートシティの実現」についてお話を頂きます。

今回のテーマ「事業革新へのDX」について、会員の方より敷居が高いと感じるというご意見もいただきました。しかしDXはICT化の前にまずはデータ化であります。企業活動のデータ化や見える化の面でも、ぜひ大会に参加いただき、研究・活動報告をご検討いただけますと幸いです。

【3】生産管理学会関西支部各研究会(全国・支部)の活動

関心のある研究会がございましたら、直接各「連絡先」までご連絡ください。

<1>生産性向上研究会(旧食品産業研究会を発展的に継承)

- ・次回予定: 2/20(土), 3/27(土), 14:00~17:00 於:スクラムソフトウェア(株)様会議室またはZoom
- ・連絡先: 林 芳樹 (kyo884@khaki.plala.or.jp)

<2>SDGsのビジネス戦略研究会

- ・次回予定: 4月24日(土) 14時-17時, 於: 大阪学院大学
- ・連絡先: 入江安孝 (yirie@iriesys.jp)

<3>新資本主義研究会 (SDGsのビジネス戦略研究会と同時開催)

- ・次回予定: 4月24日(土) 14時-17時, 於: 大阪学院大学
- ・連絡先: 入江安孝 (yirie@iriesys.jp)

<4>関西生産管理資格制度研究会

- ・次回予定: 2/21(日) 10:00~11:45 オンライン会議 (Zoom)
- ・連絡先: 柏原秀明 (kashihara@mbox.kyoto-inet.or.jp)

<5>学校給食における生産性向上

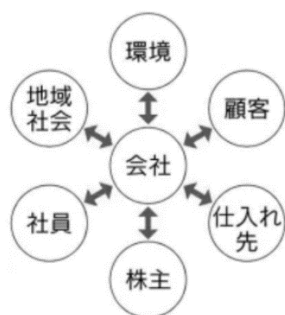
- ・次回予定: 未定
- ・連絡先: 葛西恵里子 (ekasai@hi-ho.ne.jp)

・各研究会の活動の詳細を1つずつ紹介するコーナー、第4回は、新資本主義研究会です。

2021年2月1日

関西支部新資本主義研究会について

主査 入江安孝



昨年1月ダボス会議で、格差是正や環境問題への貢献により長期的な成長をめざすという目的で、「ステークホルダー資本主義」への転換というテーマが確認されました。今年1月のダボス会議は、オンラインで開催されましたが、年次総会は5月にシンガポールで開催されることになりました。

この提案を受けてから、「新資本主義研究会」を開催することに決めました。

新資本主義は、上記の環境を改善するのに、「サーキュラー・エコノミー」や「カーボン・ニュートラル」の課題を抱えています。また、企業が存在する地域社会だけではなく、仕入れ先やその置かれている地域社会の課題まで解決して行こうとするものです。

上記の課題は、「SDGs 研究部会」とオーバーラップしておりますので、昨年度は2つの研究会を同時開催してきました。今年度も同時開催で行います。

新資本主義のもう1つの側面は、「脱物質化」です。「モノ」の「所有」から、「モノ」が持つ機能の「提供」という形に変わってきました。これを PaaS: Product as a Service と言います。この手の言い方は、MaaS や CaaS など多くあります。所有の形態から機能・効用の利用の形態へ移行しております。

1980年にA.トフラーは「第三の波」で社会変革の予想をしましたが、現在ではその予想を遥かに超える変革を来しております。それは、ITの進歩が予想以上に幾何級数的に発展しました。それは第4次産業とも呼ばれ、AI, BigData, BlockChainなどの発達が寄与するところが多いのです。

さらにA.トフラーは、「富」とは経済学でいう「効用」を所有することだと言い、第三の波の体制はサービス、思考、知識、実験に基づくものという性格が強くなるとしています。彼の予測が当たっている・いないに関わらず、すでにそのような社会構造に変革して行っております。

このような変移を追いかけると、大きな社会変化から一企業の行動まで多くの事例を挙げるができると思います。事例検証を中心に研究材料は多くあると思われるので、これらを持ち寄っての事例研究を中心に当研究会は進めて行きたいと考えております。

是非ご入会戴きたいのですが、一言だけでも言わせて欲しいという飛び入りでも構いません。多くの皆様のご参加をお待ち致しております。

・連絡先:入江安孝(yirie@iriesys.jp)

【4】その他お知らせ・ご連絡

・情報提供のお願い

本メルマガは、関連の皆様の情報で作り上げていきます。

◎他学会・他支部、その他関連講演会、書籍出版等、お手持ちの情報がございましたら、末尾「連絡先」までご一報ください。

次回発行は2021年4/上～中旬を予定しています。

2021年3/末を目途に連絡をいただくと幸いです。

・読者募集・拡散のお願い

本メルマガは、学会内外に関わらず、拡散歓迎です。

生産管理に興味をお持ちの方に広く知っていただけますと幸いです。継続して受信希望のある方は、直接送付いたしますので、末尾「連絡先」までご一報ください。

本日の内容は以上です。

発行:日本生産管理学会関西支部

連絡先:葛西恵里子(ekasai@hi-ho.ne.jp)

*このメールは日本生産管理学会関西支部会員および学会内外の希望された方へ配信しています。

また、このメーリングリストに登録の各位のアドレスは、生産管理学会のリストと同期できません。

アドレス変更をされる場合は、下記発行者までご一報ください。